

--- 会社が生き続けるためには新人採用は不可欠では？ ---

新卒者の求人が少なく、就職が出来ない若者が沢山出ています。企業は労働者の賃金は「コスト」。新人を採用するとコストが増えるからと採用を控えています。それで良いのでしょうか？人間の身体の細胞について考えれば、新しい細胞が生まれ、古い細胞は死んでゆきます。この新陳代謝が停まったとき、人間は死んでし

まいます。会社も同じです。会社が今後生き続ける組織である為には、新入社員は組織の新陳代謝の為に不可欠です。社員は会社という組織の不可欠の構成員です。それは正に企業経営を行う上での資本です。将来を見据えるなら、景気動向で新入社員の採用を減らすのはおかしいと思いますが、皆さんはどう思われますか？



ゆく春や相模のハケに集う人

水彩画を描くサークルの仲間達と、海老名でJR相模線で北に向かう電車に乗りました。三つめの駅「下溝」で降りると、すぐ相模川の河岸段丘の端に出ます。「相模川の八景(ハケ)の棚」と呼ばれる所です。「ハケ」とは崖を示す関東地方の方言で、東京西部の多摩川の河岸段丘の崖も「ハケ」と呼ばれています。その「ハケ」で、相模川とその広い川原を描きました。今年は真冬のような天候が繰り返していましたが、この日は春らしい暖かい日でした。そのお日様につられて、ハイキングに来て弁当を広げたり、我々のように絵を描く人がいました。遠

景の山々は陣馬山や小仏峠です。丹沢山系はずっと左の方です。正面の橋は実は三つの橋が重なっています。手前から県道の「昭和橋」次が国道の「新昭和橋」、そして右にアーチの見える水道の橋です。いずれも、神奈川県北部の橋本から厚木を経て、湘南の平塚に至る産業の動脈です。

第64回職美展(横浜赤レンガ倉庫1号館2F) 入場無料

全日本職場美術協会主催 2010.5.1-5.9

(10:00-19:00 但し、最終日13:00迄)

赤レンガ倉庫前で描いた「あれが大栈橋」をアクリルで大きく描き直し出品します。来場の折にはご連絡を 090-1995-0871迄、お願いします。